

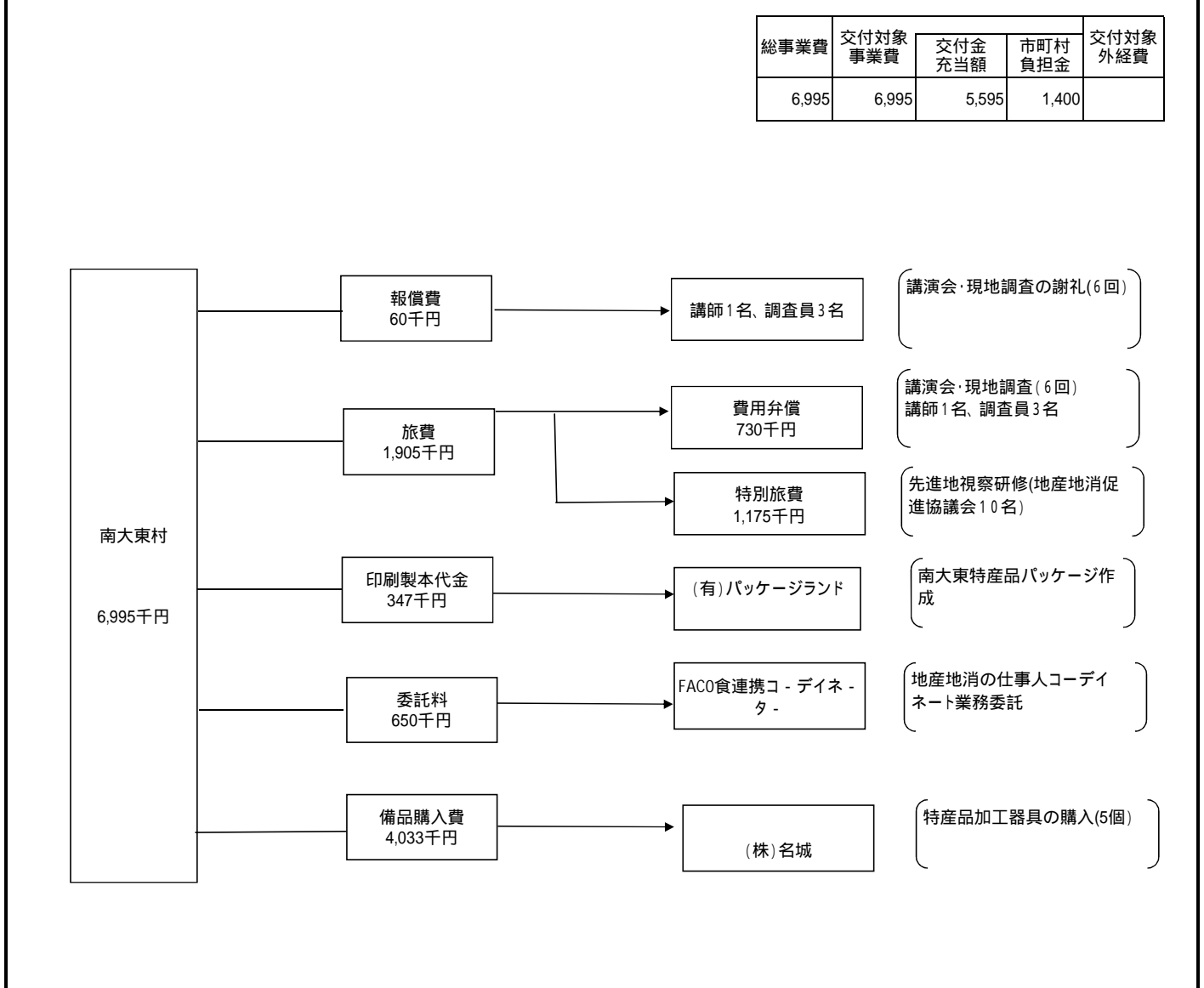
市町村名		南大東村					
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1 - 地産・地消推進事業		沖繩21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章 - 3 - (12) - イ		
	離島の特徴を生かした産業振興と新たな展開						
担当部課名	産業課	事業実施(予定)年度	平成24年度		沖縄振興基本方針該当箇所	- 9	
事業内容	地産地消を推進するために地域の食糧自給率及び地域生産物、島外入荷物等を調査し、生産者の拡充を図る。また、低価格な食料の需給を図るため地産・地消推進計画及び行動計画を策定する。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算の状況	(a)当初予算額	6,779				
		(b)予算現額	6,994				
		(c)増減額(b-a)	215				
		(d)前年度繰越額	-				
	A.計(b+d)		6,994				
	B.執行済額		6,995				
	うち交付金充当額		5,595				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		特産品加工器具の追加機能による予算増となった。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	・特産品加工器具の購入	目標	(器具の購入5個)	()	()	()	
		実績	器具の購入5個				
	・地産地消推進計画・行動計画の策定	目標	(計画の策定)	()	()	()	
		実績	計画の策定				
達成状況説明	計画どおりに、特産品加工器具の購入、地産地消推進計画・行動計画を策定する事ができた。						
成果目標(指標)及び達成状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(29年度)
	・特産品加工器具の購入	目標	(-)	(器具の購入5個)	()	()	()
		実績		器具の購入5個			
	・地産地消推進計画・行動計画の策定	目標	(-)	(計画の策定)	()	()	()
		実績		計画の策定			
	【参考指標】 ・特産品の開発・製造・販売実績(羊羹)	目標	(-)	()	(3000本)	(3200本)	(3300本)
実績				2945本	3100本		
進捗状況説明	平成24年度に策定した地産地消推進計画の取り組みで、平成29年度迄に地場産農産物を使った特産品の販売実績を目標値にしており、試験的に手作業で生産していた南瓜羊羹を商品化して販売する為に、加工器具(充填機・攪拌機・糖度計・三角種落とし・クリップシ-ラー)を購入し、平成25年度4月から南瓜羊羹、9月から月桃羊羹を空港売店や島内の各商店、イベント会場等で販売している。平成25年度については、ほぼ目標どおり達成できた。(特産品開発2品 販売実績98.2%) 1.8%の要因として、当初6月から販売予定だった月桃羊羹が、開発等(原材料の選定)に時間を要し3ヶ月遅れの販売となった為、平成26年度については、(販売実績96.9%) 3.1%の要因として、南瓜羊羹は、3月～5月に収穫した南瓜を冷凍保存し、年間を通し販売していたが、冷凍保存する施設が使用出来なくなり、イベント等に出荷する羊羹が計画通り生産できなかった。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	平成24年度において、地産地消推進計画(5ヶ年)及び特産品開発の器具を整備し、平成25年度から平成29年度目標達成に向けて、地産地消促進行動計画に基づき各組織部会とタイアップし取り組んでいる。島の特産品としての南瓜羊羹や月桃羊羹を年間を通して安定した製造販売を実施するには原材料の保管施設の確保、あるいは新たな保管施設の整備が急務となっている。現在、学校給食の食材は沖縄本島から移入した県内や県外産農産物が殆どであり今後は学校給食(栄養士)との連携を密にして地場産農産物の供給拡大を図る必要がある。また、加工器具を活用した特産品の離島フェア等のイベント活動を通しての島外への販路拡大を図る事が必要である。	年間を通しての安定した製造販売に向けて 材料等の保管施設の整備 学校給食との連携 加工器具を活用した特産品の離島フェア等のイベント活動を通しての島外への販路の拡大

今後の取り組み方針

・今後は、計画的な地産地消事業の推進や安定した特産品の製造販売に向け原材料の保管施設の整備に取り組む。
 ・学校給食との連携の強化を図り本島からの移入品を極力減らし地元の生産者が見える安心安全な食材の供給拡大を図る。
 ・加工器具を活用した商品を離島フェア等のイベント活動を通しての島外への販路拡大に努め、平成29年度迄に年間3,300本の売り上げを目指す。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	備品購入業者は、指名競争入札方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	